

2 海外拠点での取り組み

海外拠点を拡大し NTT-AT 技術のプレゼンス向上を加速

NTT アドバンステクノロジー株式会社（以下、NTT-AT）は NTT 研究所の研究成果のテクノロジーをプロダクトアウトすることをミッションの一つとしている。本稿では、かねてからの海外拠点に加え新たにオーストラリア支店を設け、グローバルビジネス拡大を狙う同社の取り組みについて紹介する。

既存海外拠点と グローバルビジネスの概況

NTT-AT は、以前から海外にも拠点を置き、ビジネスを展開してきた（図 1）。その中で、最も歴史が古い拠点は米国支店で既に設置から 20 年ほどが経過している。米国では、ロングセラー商品である光コネクタクリーナーを始めとする光関連商材商品販売が順調に推移している。現在はナノ関連商材やソリューション系の展開に注力している。

米国支店に続いて設置した拠点は上海駐在事務所で、設置から約 10 数年が経過した。製造メーカー向けの商品販売の提供が多いが、近年の研究開発への投資増大に連れて特に先端技術関連のビジネスも堅調な兆しを見せている。

次いで 2019 年 10 月に設置されたシンガポール支店では、今後東南アジア領域をカバーする営業拠点として、ビジネスのさらなる拡大を狙う方針だ。東南アジアには高温多湿な国が多いことから、インフラ設備の寿命を延ばす耐候商材について販売計画を推進している（本特集④章参照）。

一方、欧州や南米に対しては契約

エージェントを通して販路開拓を実施している。特に欧州は文化に対する価値観が日本に近似している部分もあり、技術による付加価値に評価を得られる可能性が高いとして、今後欧州にも支店を設置することも検討している。

2023 年 10 月、 オーストラリアに支店を新設

2023 年 10 月、NTT-AT は 4 箇所目の海外拠点となるオーストラリア支店を新設した。広大な国土を持つオーストラリアは、世界各国の優良企業がビジネスを展開していることに加え、大学や研究機関も多く、スマートシティ構想も進んでいる。また、資源国と消費国の両面を持ち併せるだけに、カーボンニュートラ



NTT アドバンステクノロジー株式会社
グリーン&プロダクト・イノベーション事業本部
営業部門
部門長 渡邊 賢一氏

ルに向けての意識も高いことから、NTT-AT の先端技術や商材が貢献できる可能性は高い。

今後は、オーストラリア国内に限定せず、オセアニア全域へのビジネス展開の足掛かりとしても、現地と深いコミュニケーションを築いていく考えだ。

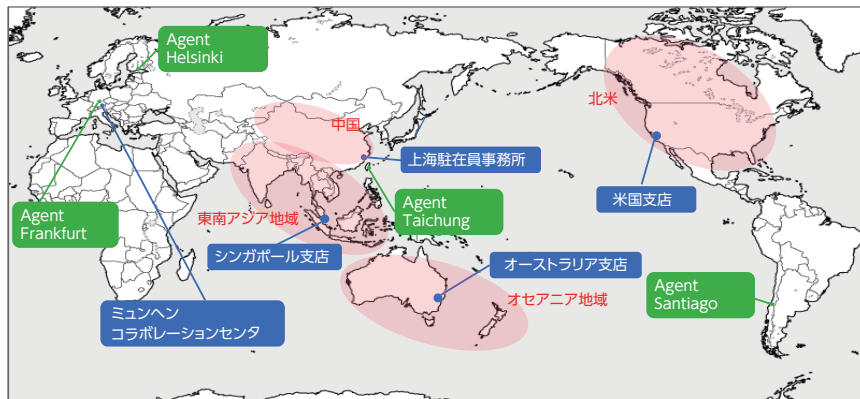


図 1 海外拠点

主要プロダクトとサービス

グリーン&プロダクト・イノベーション事業本部では、光、環境、ナノテクノロジーをコア領域として、図2のようなプロダクトとサービスを扱っている。本特集では、グローバル展開を狙う商材や環境商材の他、スマートデバイス & マテリアル事業部の高屈折率樹脂 (⑤章)、社内インキュベーションから生まれた Value Co-creation 事業本部の煌めきディスプレイ (⑥章)、同じく社内インキュベーションから生まれたスマートコミュニティ事業本部の水素燃料電池 (⑦章) についても紹介する。

逆輸入の発想で技術とプロダクトのサイクルを回す

NTT-AT は多くの先端技術を開発

提供しているが、その技術を国内にとどめずに積極的にグローバル展開することをめざしている。海外に技術をアピールすると、想定外の化学反応が生まれることがある。NTT-AT の技術を海外に輸出し、海外でプロダクト化し、そのプロダクトを日本でさらに醸成する…。そうしたサイクルを回すことで新しい世界が開けるのではないだろうか? NTT-AT はそうした可能性も視野に入れながらビジネスを推進する考えだ。

求めるのはグローバルマインドを持つ人財

NTT-AT は今後も NTT グローバル各社と連携を取りながらビジネスを拡大していく方針だ。

「例えば、NTT-AT 米国支店は NTT グループが入居しているビルに拠点を構えています。情報交換を密

に取りながら連携を深めて、それぞれの国に対して効果的なアプローチをとることがグローバルビジネスを成功させるカギになると思います」(渡邊氏)。

グローバル拠点を拡大するにあたり、人財についてはどのように考えているのだろうか。この問いに対し、渡邊氏は次のように語る。「我々が真に求めるのは、現地スタッフと共にそれぞれの地域の文化や商習慣等を理解するグローバルなマインドを持った人財です。現地では、エージェント・商社を含め我々の商材の魅力を広めようとしてくれる仲間が多くいますが、今後もこうしたパートナーを増やしていきたいと考えています。」

歴史と実績とノウハウを併せ持つ NTT-AT のプロダクトやサービスは世界的に高い評価を得ている。同社の今後のグローバル展開に大きな期待が寄せられている。

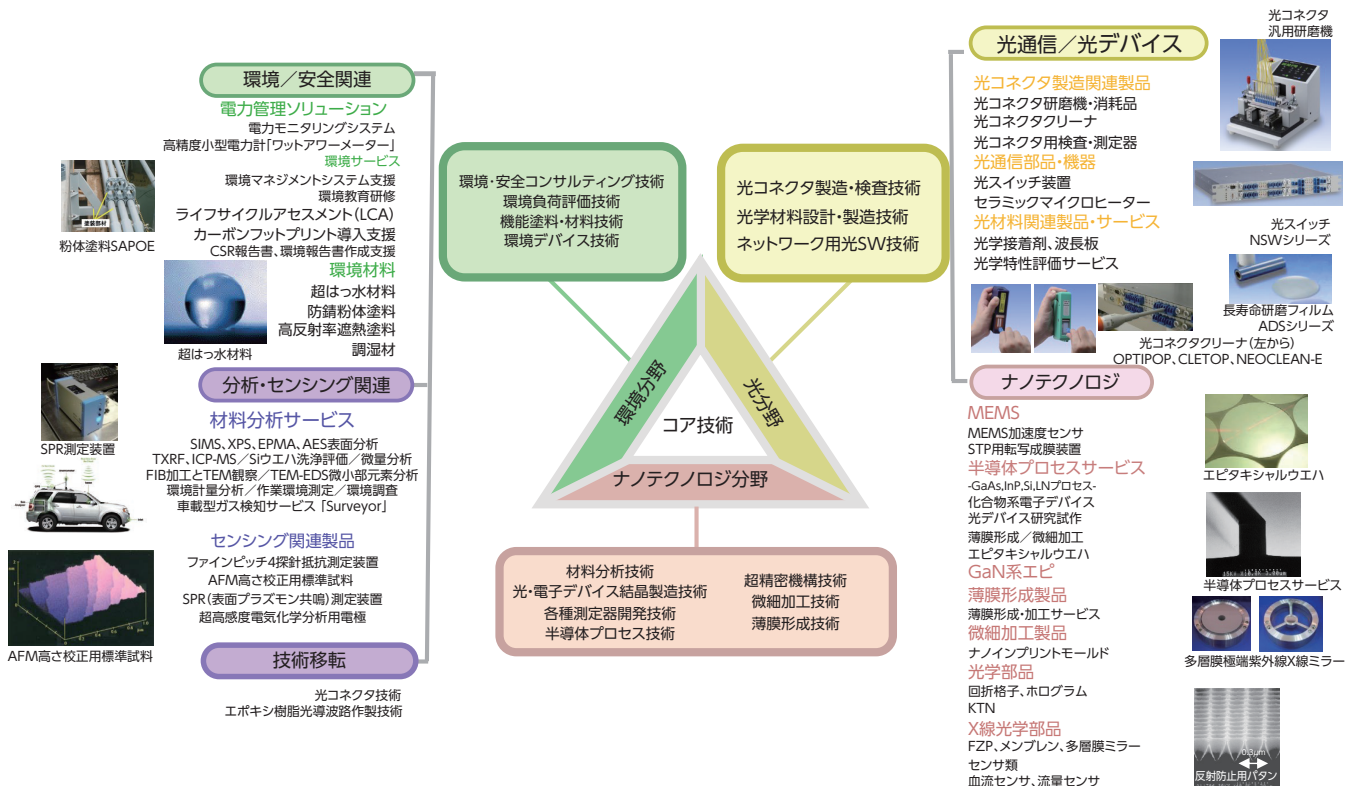


図2 グリーン&プロダクト・イノベーション事業本部の主要プロダクトとサービス